

令和5年度 第5回 大府市文化財保護審議会会議録

日時：令和6年3月14日（木）

午前10時30分～12時

場所：歴史民俗資料館 会議室1

[出席者]（委員）伊藤啓信、飯田隆裕、舘内三郎、花井しおり、見田隆鑑、中井良岳、
西尾一、小早川道子、池田ちか、武部真木

（事務局）近藤部長、田中課長、小田原館長、鷹羽、塚野、内藤

[欠席者]（委員）なし

[傍聴者] 0名

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 議題

（1）令和5年度事業実績報告

歴史民俗資料館事業実績（資料1）

文化財保護事業実績（資料2）

大府市文化財保護審議会活動報告（資料3）

事務局より一括説明

委員）メタバースの実績はどのようになっているか。

館長）現在2000人弱が閲覧に訪れている。想定よりも多い人数である。

（2）令和6年度事業計画

歴史民俗資料館事業計画（資料4）

文化財保護事業計画（資料5）

大府市文化財保護審議会活動予定（資料6）

知多地方文化財保護委員会について（資料7）

事務局より一括説明

委員）来年度の吉川獅子屋形の台車修理の見通しは。

事務局）文化庁の補助対象となるか、国からまだ回答が来ていない。事業計画に掲載の市補助金額は、文化庁補助が減額された場合の最大値である。

委員）来年度の第1回審議会日程は決まっているか。なるべく多くの委員が参加できる日程で調整していただきたい。

事務局）先生方の来年度の授業スケジュールをお聞きして、日程を決めたい。

（3）文化財指定について

大府市指定文化財候補について（資料8）

事務局より別添「大府市指定文化祭新規指定候補概要」に基づき説明

① 吉川熊野神社旧拝殿(旧本殿から修正)

(事務局) 皇室技芸員伊藤平左衛門 9 世が大工の棟梁として手掛けた建築である。

(委員) 指定については、地元吉川の意向を確認したうえで、進めてよい。

② 三山道中記

(事務局) 江戸時代の大府の文化を示す数少ない資料である。

(委員) 大府市誌編纂のときに深谷家から見つかった資料で、大府の資料として、また道中記としても一級のものである。所有者は誰か。

(事務局) 資料館に寄贈いただいております、市の所有である。コンディションも良好で、内容も濃く、富山県立山博物館への貸出するなどしている。企画展などで広く市民に知っていただきたい資料であり、文化財指定はその後押しとなる。

(委員) 記録では、三山詣だけでなく、日光、善光寺、江戸にも行き、物見遊山の様子が見て取れる。当時の大府は意外に裕福だったのかもしれない、興味深い。指定に向けて進めてよい。

③ 米田の常夜燈

(事務局) 独立した村落的機能を持つ米田村の歴史を考えるうえで重要である。

(委員) 江戸時代、若い者組が秋葉山に代参に行っていた。その際に村人から集めたお金の余りで常夜燈が建てられたことが多い。常夜燈は船着き場に建てるのではなく、村はずれに建てる人が多い。災いが村に入ってこないようにする意味合いがあった。

神社の境内に建つ常夜燈と異なり、市有地等に建つ常夜燈は、移動したり撤去されたりする恐れがあるため、文化財指定して保存していきたい。

北尾の秋葉さん常夜燈は、元は北尾の公会堂の辺りにあったが、移動している。

(委員) 石丸の常夜燈はどうなったか。

(事務局) 市の消防署共長出張所駐車場に移設されている。

(委員) 市文化財に指定する基準は。

(事務局) 市内の常夜燈の状況は、追加資料に示した。米田と同年代かそれよりも古いもののみを年代順に並べてある。(1)から(7)までがすべて神社境内に保存され、(9)吉田町西申待と米田の常夜燈は神社以外に所在している。

指定については、神社以外にあるものの内で古いものとし、吉田町西申待の常夜燈も対象としたい。なお、(8)は私有地にあり、現状が確認できていない。

(委員) 米田の常夜燈の管理者はいるのか。

(事務局) 地元が管理している。

(委員) 指定するには、地元が管理できる体制が必要ではないか。

(委員) 指定に向けて動くかどうかは、地元の意向を確認したうえで進めてほしい。

④ おもっそ祭

(事務局)文化財指定はしないが、失われつつある祭であるため、調査を記録し、その結果を文化財保護審議会にご報告するということがよろしいか。

(委員)いつから始まった祭か。

(事務局)分からない。京都の事例は、平安遷都以前からとある。神や仏にお供えすることから始まったものか。

(委員)おもっそ祭りでは、昔、青年団が猩猩に似た面をかぶって地区を廻っていた。いつごろから始まったかは分からない。

(委員)「もっそう」は仏教用語で、おもっそ祭は元は神仏習合のお寺の行事だったのではないか。地元委員のお話を聞くと、おもっそ祭は猩猩と集合しているようである。

かつての祭の様子を聞き取りして記録することが必要である。その際は、おもっそのみでなく、猩猩など広く周辺地区を含めて調査するとよい。

⑤ 蔵福寺 阿弥陀三尊像(阿弥陀如来座像から修正)

(事務局)製作年代や来歴がある程度分かるものであるため、指定に向けて専門家の意見を聴いて行ってよいか。

(委員)寺部強右衛門とは何ものか。

(委員・事務局)不明である。

(委員)豊田の寺部氏との関係が見えると価値がぐんと上がると思う。

(委員)町史の出典は。

(委員)当時の住職の話が掲載されている。

(委員)「大府市の仏像」の写真を見たところでは、室町時代頃のものではないか。鎌倉までにはならないと思う。この仏像を指定すると、それが基準になるため、他の仏像をどう扱うか慎重な対応を。

(委員)高齢女性住職が仏像の行く末を心配しているという事情もある。

(委員)仏像指定の基準が必要かもしれない。

(委員)審議会で基準を考えていくこととする。

⑥ 専唱院 如意輪観音像

(事務局)所有者(檀家)の同意が得られなかったため、指定は見送り、候補表からも削除させていただきたい。

(委員)了解。

(4) 半月七社神社おまんと祭りにおける動物愛護について

(事務局)大府市における問い合わせと対応等を説明

(委員)集落をひき馬で廻る祭りで、馬を途中で休ませない、水を飲ませないなどがこ

れまでも問題となってきた。馬の扱いをきちんとする、無理をさせないといったことを徹底することが求められる。

（委員） 神事として続けていくために、動物愛護に配慮したうえで進めていくようお願いしていくこととする。

4. その他

退任委員あいさつ・・・飯田委員

5. その他

事務局より委員報酬について説明

配布資料 資料館年報 34、シネマパラダイス仏像バーチャルミュージアム上映会ちらし、春休み資料館探検クイズ、メタバースちらし、オーティズムアート展ちらし、名古屋城三の丸遺跡地元説明会資料

以上